

『専門医を目指す 周産期診療ワークブック第3版』 お詫びと訂正

『専門医を目指す 周産期診療ワークブック第3版』（2024年6月30日 第3版第1刷）におきまして、誤りがございました。ここに訂正し、深くお詫び申し上げます。

(2024年10月31日 メジカルビュー社編集部)

ページ	誤	正
p. 43 Exercise の解答	⑧○	⑧×
p. 146 Exercise の解答	⑥○	⑥×
p. 198 「長文問題の実例」問題文 1 行目	一絨毛膜一羊膜双胎	一絨毛膜二羊膜双胎
p. 217 Exercise の解答	⑦×	⑦○
p. 236 Exercise⑨問題文	胎盤性腹膜炎	胎便性腹膜炎
p. 237 本文左段 2 行目	胎盤性腹膜炎	胎便性腹膜炎
p. 289 本文右段下から 3 行目	13.5cmH ₂ O	9cmH ₂ O
	解説：【Q10-1】平均気道内圧：(PIP*吸気時間+PEEP*呼気時間) / 1 回換気時間 (= 吸気時間+呼気時間) = (PIP 20 cmH ₂ O*0.4 秒+PEEP 5 cmH ₂ O *1.1 秒) / 1.5 秒 (0.4 秒+1.1 秒) =9 cmH ₂ O になります。テキストの内容から 1 回換気時間で除する必要がありました。上記のように訂正いたします。また、上記計算は単位時間当たりの面積として平均気道内圧を理解することができますが、吸気時間+呼気時間として展開しますと、(PIP-PEEP) *吸気時間/1 回換気時間 (60 秒/換気数) +PEEP= (PIP-PEEP) *吸気時間*換気数/60+PEEP となります。こちらの方になじみがある先生も多いかと思えます。(著者)	
p. 289 Exercise の解答	Q10-2 ×	Q10-2 ○
p. 289 本文右段下から 2 行目	MAP13.5cmH ₂ O*FiO ₂ 0.40*100/PaO ₂ 60=9	MAP 9 cmH ₂ O*FiO ₂ 0.40*100/PaO ₂ 60=6
	解説：【Q10-2】酸素化指数 (oxygenation index : OI) : MAP*FiO ₂ *100/PaO ₂ =MAP 9 cmH ₂ O*FiO ₂ 0.40*100/PaO ₂ 60=6 cmH ₂ O/mmHg となります。設問 1 での MAP 値を訂正したため、OI 値も変わります。設問 2 では答えが○になります。(著者)	

『専門医を目指す 周産期診療ワークブック 第3版』 お詫びと訂正

『専門医を目指す 周産期診療ワークブック 第3版』（2024年6月30日 第3版第1刷）におきまして、誤りがございました。

ここに訂正し、深くお詫び申し上げます。

(2024年8月6日 メジカルビュー社編集部)

ページ	訂正箇所		誤	正
p. 5	1 母体編	Exercise の解答	③ ×	③ ○
p. 545	6 付録	「 図 4 主要疾患・出生前診断症例数」の凡例	■出生児診断あり ■出生児診断なし	■出生時診断あり ■出生時診断なし